



2023年11月29日

2023年9月期仮決算について

京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）の2023年9月期仮決算につきまして、別紙の通りお知らせいたします。

以上

2023年9月期(仮決算)の状況

京都中央信用金庫

1. 当期の業績について

預金については、個人預金・法人預金共に順調な伸びを示した結果、前年同期比601億円増加し5兆3,767億円となりました。

貸出金については、地元中小企業者や一般個人のみなさまへの円滑な資金供給に努めた結果、前年同期比1,051億円増加し3兆2,740億円となりました。

2. 利益の状況について

貸出金利息収入の増加等により資金利益が前年同期比12億円増加した一方で、欧米の金利上昇に伴う外国債などの価格下落による損失処理を進めたこと等から、本業の利益を示す実質業務純益は前年同期比26億円減少し、52億円となりました。

これに対し、好調な株式市況を背景に保有株式の売却益を計上したこと等から、経常利益は前年同期比19億円増加の113億円、当期純利益は前年同期比5億円増加の90億円となり、当期純利益は3期連続で仮決算としての過去最高益を更新しました。

3. 単体自己資本比率について

リスク・アセット等が増加した一方で、内部留保額を順調に積み上げたことにより、前年同期比横ばいの10.89%となりました。金融機関の健全性を示す基準となる水準（国内基準4%）を大きく上回っております。

4. 不良債権について

金融再生法による不良債権比率は前年同期比0.04ポイント上昇の2.11%となりました。

5. 主要計数

	2023年9月期	2022年9月期	増 減	増 減 率
預 金 残 高	5兆3,767億円	5兆3,165億円	601億円	1.13%
貸 出 金 残 高	3兆2,740億円	3兆1,689億円	1,051億円	3.31%
内 部 留 保 額	2,828億円	2,709億円	118億円	4.36%
自己資本比率	10.89%	10.89%	—	—
不良債権比率	2.11%	2.07%	0.04%	—
店 舗 数	134店舗	132店舗	2店舗	—

※ 預金には譲渡性預金を含みます。

	2023年9月期	2022年9月期	増 減	増 減 率
資 金 利 益	280億円	268億円	12億円	4.65%
コア業務純益	101億円	105億円	△4億円	△4.42%
実質業務純益	52億円	79億円	△26億円	△33.56%
業 務 純 益	52億円	79億円	△26億円	△33.56%
経 常 利 益	113億円	94億円	19億円	20.29%
当 期 純 利 益	90億円	85億円	5億円	6.43%

以上